

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し，それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 都市計画に住民参加が求められる背景と，住民参加による都市計画決定権者のメリットを述べよ。また，住民参加に関して都市計画法に規定されている制度を1つ挙げ，その概要を述べよ。

Ⅱ-1-2 都市再生特別措置法では，まちのにぎわいの創出のため，「広告塔又は看板」，「食事施設，購買施設その他これらに類する施設」，「自転車駐車器具で自転車を賃貸する事業の用に供するもの」について，一定の条件下で道路占用許可基準を緩和することができる。この基準緩和を適用して道路空間にこれらの施設を設置することにより得られる効果と，その際に留意すべき事項を述べよ。

Ⅱ-1-3 建築物の規制・誘導等を行う次の制度について，それぞれの概要を述べよ。

- (1) 景観地区
- (2) 特定用途誘導地区
- (3) 一団地の総合的設計制度（建築基準法第86条第1項に規定する制度）

Ⅱ-1-4 官民連携に資する次の手法それぞれについて，その概要と，都市公園に適用することによって得られる公園管理者のメリットを述べよ。

- (1) 地方自治法に基づく指定管理者制度
- (2) 都市公園法に基づく公園施設の設置管理許可制度
- (3) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づく公共施設等の整備・運営等

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 高度経済成長期において大都市圏近郊で計画的に開発された戸建て住宅を主とする大規模住宅団地を対象に，あなたが都市計画・まちづくり部局の担当責任者として団地の再生を図る計画の策定を行うに当たり，以下の内容について記述せよ。

- （１）計画を策定する背景にあるハード面とソフト面の課題
- （２）（１）の課題を解決するため，当該計画に位置付けるべき具体的な施策
- （３）実効性の高い計画とするための工夫又は留意すべき事項

Ⅱ－２－２ 防災上多くの課題を抱える密集市街地において，あなたが担当責任者として，整備改善のための計画策定を行うに当たり，以下の内容について記述せよ。

- （１）密集市街地における防災上の課題
- （２）計画策定の手順とその内容
- （３）実効性の高い計画とするための工夫又は留意すべき事項

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1、Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 人口減少と高齢化の進む地方都市において、コンパクトなまちづくりを進めるため、立地適正化計画を策定することになった。当該地方都市は、鉄道・バス等の公共交通は整備されているものの、車への依存度が高く、また、近年合併したことから、類似・重複した公共施設を多く保有している。

あなたが担当責任者として計画策定を行うに当たり、以下の問いに答えよ。

- (1) 当該地方都市の現状から想定される課題を述べた上で、計画における目指すべき将来都市像を述べよ。
- (2) (1) で述べた課題を解決し将来都市像を実現する上で、計画において設定することが適当と考える定量的な目標（具体的な数値は不要。）を2つ挙げ、これらを実現するために必要と考えられる方策を述べよ。
- (3) (2) で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面と対応方策を述べよ。

Ⅲ-2 緑とオープンスペースの確保が課題となっている三大都市圏の都市において、あなたが都市計画・まちづくりの担当責任者として、市街化区域内農地の保全及び活用に取り組むに当たり、以下の問いに答えよ。

- (1) 市街化区域内農地の保全及び活用が求められる背景と、それに取り組むことによる効果について述べよ。
- (2) (1) を踏まえてまちづくりを進める上で、市街化区域内農地を保全及び活用するための具体的な方策について複数提案せよ。
- (3) (2) で述べた方策を実施する上で、想定される負の側面と対応方策を述べよ。